

Ⅲ すくすくガイドの活用に向けて

1 すくすくガイドの構成と活用方法

すくすくガイドは、以下のように構成されています。

○ 全体の構成

Ⅲ すくすくガイドの活用に向けて

- 1 すくすくガイドの構成と活用方法
- 2 人との信頼関係を築き、自己肯定感を培う道すじ
- 3 0歳児から移行期における発達に必要な経験の内容

Ⅳ 子どもの成長と教育・保育のポイント



小学校への移行期に大切にしたい
幼稚園・保育園・こども園の保育内容

小学校が移行期に大切にしている教育内容

V 幼保小の連携について

- 1 交流・連携事業の推進
- 2 幼保小連携ブロック会議の推進
- 3 保育所児童保育要録・幼稚園園児指導要録・
幼保連携型認定子ども園園児指導要録・認定こども園こども要録

VI 自己評価・関係者評価・第三者評価

- 1 自己評価・外部評価（関係者評価・第三者評価）
- 2 情報の公開

VII 保育にあたり特に留意する事項

- 1 安全に関する指導について
- 2 特別な支援を要する子どもの教育・保育について
- 3 虐待などへの対応について
- 4 外国籍の子どもについて
- 5 子どもの権利の尊重について
- 6 幼児教育を地域で支える基盤づくりについて

夢と希望
そして
少々の不安
小学校入学期

心も体も充実
自立・自信が
つながら
る時
5歳児移行期

○ 活用方法

1 発達の特徴

発達の目安として年齢区分ごとの特徴を示しました。

2 教育・保育の重点

年齢区分ごとに育てたい子どもの姿を明確化しました。

3 親育ち・子育て支援

保護者との信頼関係を築き、連携して子どもの育ちを支えるため、保護者への発信のポイントを示しました。

保護者会の準備や園だより、クラスだよりの作成に活用できます。

4 発達に必要な経験の内容

健康

生活や遊びの充実が、子どもたちの確かな育ちにつながります。

年齢区分ごとに五領域に分けて、特に大切にしたい経験の内容を示しました。

保育者の関わりポイント

左記の発達に必要な経験を、子どもたちが生活や遊びの中で積み重ねていくための保育者の関わりポイントをまとめました。

環境

言葉

人間関係

表現

5 実践事例

実際の事例を用いて、子どもの姿の見取りや、保育者として望ましい援助などを記載しました。

健康

環境

言葉

写真

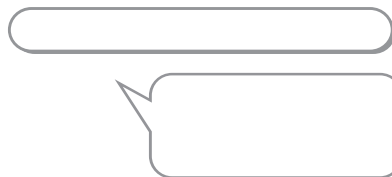
表現

人間関係

事例の子ども姿からその育ちを確認するときに、五領域の内容を活用してください。

6 必要な経験に向けての工夫及び教材・玩具など

年齢発達に適した教材や環境構成を考える際に活用してください。



2 人との信頼関係を築き、自己肯定感を培う道すじ

子どもの育ちの姿

- いつも世話をしてくれる人に泣きやむ・よく笑う・喃語（※）を発するなどの特別な反応をする。
- 人見知りや後追いが始まる。
- 自分の意志や欲求を喃語や身振りで伝えようとする。



- 「自分で」「いや」と強く自己主張することが多くなる。
- 思い通りにいかないと泣いたり、かんしゃくをおこしたりする。

※喃語
乳児（1歳に満たない子ども）が発する愛らしい声、言葉になる前の声。

- 他の子どもの仕草や行動を真似たり、同じものを欲しがったりする。
- 保育者の姿を確認しながら遊ぶ。



乳児

（P.25～）

『絆の時 愛と信頼の芽生え、
おすわり はいはい たっち
世界が広がる』

1歳児

（P.39～）

『たっちからあんよ
興味しんしん
何でもやってみたい』

2歳児

（P.49～）

『自分で じぶんで
やりたいな』

保育者の対応



- 泣く、拒否するなど感情的に混乱している時は、保育者がしっかりと抱きしめ、「こうして欲しかったのね」と言葉に出し、気持ちを汲み取った対応をする。



- 泣くことで表す生理的な欲求や不快に、優しい言葉と行動で応える。
「お腹すいたね」「眠くなったね」など
- 子どもの言葉にならない仕草や表情を見逃さず、言葉や優しい表情で応える。

- 自己主張を強く表す時は、焦らずゆとりを持って丁寧に関わる。
- 自分でやりたい気持ちを受け止め「早くしなさい」とせきたてたりすぐに援助したりしない。

乳幼児期は、身近な大人たちからの深い愛情、様々な出会い、関わり合いを通じて自己肯定感を培う時期です。自分の欲求や気持ちを保育者に受け止めてもらうことで、自分自身に自信がつき、やがて他者の思いや考えを受け入れようとする気持ちが芽生えます。

- 自分を「ぼく」「わたし」と言い、自分と家族、友達、保育者との関係がわかり始める。
- 保育者が仲立ちとなって友達と一緒に遊ぶ。

- 保育者や友達との関係の中で、生活や遊びを楽しむ。
- よい、悪いの判断をして行動できる。また、簡単なルールを作り出し、決まりを守る。



- 自分と他人との区別がはっきりする。
- 子ども同士のつながりが深まる中で競争心も生まれ、けんかも多くなる。

- 遊びや自分の役割を最後まで協力してやり遂げる。
- 友達に対して一緒に喜んだり悲しんだりして、思いやりの気持ちを持つ。

3歳児

(P.58～)
『ちょっとまわりがみえてきて』

4歳児

(P.67～)
『もっと もっと大きくなりたい』

5歳児

(P.76～)
『育ちあいより頼もしく』

接続期 (5歳
小学校1年生)

(P.85～)
『心も体も充実
自立・自信につながる時』

- 「かして」などの言葉や交代順番、決まりなど、子ども同士で活動する上で必要なことを伝え、大人と一緒に行動しながら、徐々に自分でできるようにしていく。

- 子ども同士のけんかやトラブルは、保育者がすぐによし悪しを決めるなどの結論を先に出さない。
- 友達のよさに気付くような働きかけをする。



- 他の子どもと比べるのではなく、一人一人の子どものよさを見つけ、認めていく。
- 子どもが失敗した時には、自尊心を傷つけないよう励まし見守る。

- 子ども同士が互いの気持ちや発信を受け入れられるように見守ったり、適切ところで助言したりする。
- 子どもたちが考えるための時間に配慮する。

3 0歳児から移行期における発達に必要な経験の内容

領域	乳児
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">健やかに伸び伸びと育つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ものをじっと見たり、動くものを追ったり、手のひらに触れたものをつかもうとしたりするなど、目や手を活発に動かす。 ○ 腹這いで体の前に手をついて上体を反らしたり、寝返りをしようとしたりする。 ○ 膝の上に立たせると足を突っ張ったりぴよんぴよん跳ねたりする。 ○ 手の操作性が高くなり、握る、いじる、つまむ、手を打ち合わせるなどの動きをする。 ○ 探索活動が盛んになり、這い這いで動き回ったり、つかまり立ちや伝い歩きをしたりするなど、様々な動きをする。 ○ 乳汁以外のものを飲んだり食べたりする。 ○ 離乳食が進み、喜んで食べるようになる。徐々にミルクを飲まなくなるようになり、自分で食べようとする気持ちが芽生え、形ある食べ物を食べようとする。 ○ 一人一人の生活のリズムに応じて、安全な環境の下で十分に午睡をする。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">身近な人と気持ちが通じ合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 機嫌のよい時は、保育者のあやしかけに応じて「アー」「ウー」「エー」などのおしゃべりをしているような声を出したり、微笑んだり、時には保育者の顔をじっと見たりする。 ○ 快、不快がはっきりしてきて、抱っこすると体全体で喜びを表す。お腹がすいた、おむつが濡れた、眠いなどの生理的欲求や、相手をして欲しいなどの思いを表情や泣き声を変えて表す。 ○ 徐々に身近な保育者の見分けがつくようになり、保育者との関わりを求める。 ○ いろいろな喃語を言ったり、話しかけられた言葉を真似したりする。 ○ 保育者の身振りや話しかける言葉が少しずつ分かってきて、連続の喃語を言ったり、指をさして自分の気持ちを伝えようとしたりする。 ○ 見慣れない場所や、人への不安感で人見知りが強くなり、いつも世話をしてくれる信頼できる保育者に対して強い愛着行動を示し、自分から関わる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">身近なものとの関わり感性が育つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近づいてくるものを見たり、ゆっくり動くものを目で追ったりする。 ○ 玩具を差し出すと、自分から手を出したり、握ったりする。 ○ 散歩をして、きれいな色の花を見つめたり、イヌやネコにも興味を示したりする。 ○ 両手にもものを持って打ち合ったり、叩きつけたりする。 ○ 周りにあるものに興味をもち、小さいものなどをつまんで遊ぶ。 ○ ものに対して独占欲が出てきたり、思いが通らないと保育者の顔を見て泣いて通そうとしたりする。 ○ 手遊びや歌遊びを喜び、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ。 ○ 保育者と一緒に、様々な色彩や形のものや絵本などを見る。

※それぞれの年齢だけでなく、乳児から移行期における育ちのつながりの確認にもご活用ください。

領域	1歳児
健康	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歩行が安定してきて行動範囲が広くなり、走ったり、よじ登ったり、方向転換をしたりするなど、様々な運動をしようとする。 ○ 「自分で」の気持ちが芽生え、手が汚れたことが分かり洗おうとしたり、衣服の着脱を手伝ってもらいながら自分でやろうとしたりする。 ○ 食べたいという気持ちが高まりスプーンや手づかみで食べる。 ○ おしっこが出ると教えたり、嫌がらずに便器に座ったりする。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分を温かく受け入れてくれる保育者との信頼関係に支えられて、自分の居場所を確保し、安心感をもってやりたいことに取り組む。 ○ 身の回りに様々な人がいることに気付き、徐々に他の子どもと関わりをもって遊ぶ。 ○ 保育者の仲立ちによって、他の子どもとの関わり方を少しずつ身に付けるようになる。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ 好奇心が盛んになり、見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わうなど、様々な感覚を働かせながら、対象に関わるようになる。 ○ 探索行動が活発になり、遊びへの興味や関心が広がる。散歩、ままごと、絵本、粘土、積み木などで遊ぶことを喜ぶ。 ○ 指先を使えるようになり、砂遊びでシャベルを使う、紙や粘土を使って遊ぶ、クレヨンでぐるぐると丸を描くなどを喜ぶ。
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の要求を身振りや指さして保育者に伝えようとする。 ○ 言葉の数が少しずつ増え、自分からしきりに話しかける。 ○ 簡単な言葉遊びや歌遊びを理解して、保育者と一緒に遊ぶ。 ○ 身近な即興の話などを楽しく話すと、興味をもって聞く。 ○ 本の中の知っているものの絵を指さして名称を言う。
表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水、砂、土、紙、粘土など、様々な素材に触れて、全身でその感触を十分に味わう。 ○ 歌を歌ったり、簡単な手遊びを楽しんだりする。 ○ 簡単な言葉遊びや歌遊びを理解して、保育者と一緒に遊ぶ。 ○ リズムに合わせて体を揺すったり、保育者と一緒に体操を楽しんだりする。 ○ 生活の中の様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付く。

領域	2歳児
健康	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手洗いやうがいを保育者と一緒にしようとする。 ○ 靴を一人で脱ぎ、徐々に一人で履いてみようとする。 ○ 保育者に手伝ってもらいながら、簡単な衣服の着脱をする。 ○ 片手で食器を押さえスプーン・フォークを使って食べ、嫌いなものでも少しずつ食べるようになる。終わりまで一人で食べようとする。 ○ 運動機能が高まり、全身や手、指の動作が発達し、走る、跳ぶ、蹴る、ぶら下がることなどをして遊ぶ。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育者や友達ともののやり取りや買い物ごっこなど簡単なごっこ遊びをする。 ○ 平行遊びが多いが、気の合った友達と短い時間一緒に遊ぶ。 ○ 他の子どものことが何でも気になり、真似をしたり、一緒にふざけたりする。 ○ 自己主張が強く、なだめても叱っても、強引に自分を通そうとする。 ○ 見立て遊びやつもり遊びが十分できるようになり、友達と関わり合って遊ぶ。 ○ 保育者の真似をしようとする。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活用品、ままごと道具、人形などを使って、家庭の生活などを模倣して遊ぶ。 ○ 積み木やブロックで作ったものを道路や乗り物に見立てて遊ぶ。 ○ 身近な動植物を実際に見たり、触ったりすることを通して、それらに親しみや興味をもつ。 ○ 「自分の場所」「自分のもの」という、所有の意識が明確になってくる。 ○ 粘土、紙、布など様々な素材に触れて遊ぶ。 ○ ごく簡単な分類ができ、玩具の区分された棚などが分かり、自分で出し入れをする。 ○ クレヨンなどを手にして、思いのままになぐり描きをして遊ぶ。 ○ パズルや絵合わせなどに興味をもって遊ぶ。
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に必要な簡単な言葉を理解し、自分の思いや要求を言葉や態度で伝えようとする。 ○ ものに名前があることが分かり、「なーに？」を連発する。また、絵本を見て、聞いたり聞かれたりすることを喜んだり、知っているものの名前をさして喜んだりする。 ○ 友達と一緒に紙芝居を見たり、簡単な言葉を繰り返したり、ごっこ遊びをしたりする中で、保育者を仲立ちとして友達との言葉のやり取りを楽しむ。
表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水、砂、土、紙、粘土など、様々な素材に触れて、全身でその感触を楽しむ。 ○ 保育者や友達と一緒に歌ったり、楽器を鳴らして遊んだり、手遊びやリズム遊び、体操を楽しんだりする。 ○ 生活の中の様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感動したり、伝え合ったりする。 ○ 生活や遊びの中で得た情報や印象に残った出来事などから、イメージする力が豊かになっていく。 ○ 興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現する。

※それぞれの年齢だけでなく、乳児から移行期における育ちのつながりの確認にもご活用ください。

領域	3歳児
健康	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な遊びに興味をもち保育者や友達と取り組む中で、体を動かす楽しさを感じる。 ○ 身の回りの清潔や衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分からしようとする。 ○ 自分で手洗いや鼻をかむなどして清潔にすることの気持ちよさを知る。 ○ 楽しい雰囲気の中で様々な食べ物を進んで食べようとする。 ○ 安全に気を付けて遊具や用具を使ったり危険な場所や遊び方に気付いたりする。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分なりの動きをしながらクラスのみなどと一緒に過ごす楽しさを感じる。 ○ 友達と一緒に遊ぶ中で、友達がしていることや動きや言葉に関心をもち、相手にも様々な思いがあることを感じる。 ○ 遊具や用具などを貸したり借りたり、順番を待ったり交代したりして遊ぶ。 ○ 園生活に必要なことを自分からしたり、周りの子どもの動きを見て気付いたことを自分でしたりしようとする。 ○ 困ったことや分からないことなど、動きや簡単な言葉で保育者や友達に伝えようとする。 ○ みんなと遊ぶ中で、してよいことやしてはいけないことに気付く。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飼育物や栽培物などに関心をもち、触れたり関わったりすることを喜ぶ。 ○ 身近な遊具や用具に関心をもち、自分たちで自由に使ったり遊んだり感触を楽しんだりする。 ○ 身近な自然物や様々な素材、材料などに親しみ、色や形や大きさなどの違いに気付き、集めたり並べたりして楽しむ。 ○ 自分のもの、他人のもの、共同の遊具などの区別が分かり、大切にしようとする。 ○ 園内の様々な表示に関心をもつ。
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親しみをもって保育者の話を聞いたり、困ったことやして欲しいことを言葉で伝えたりする。 ○ みんなと一緒に保育者の話を聞くことを楽しむ。 ○ 安心して自分から保育者や友達に話をしようとする。 ○ 身近な生活の中で必要な言葉の意味を理解し、自分も使ってみる。 ○ 挨拶をする気持ちよさを感じる。 ○ 絵本や紙芝居を繰り返し見たり聞いたりすることを楽しむ。
表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な遊具や素材に自分から見たり触ったりし、興味をもって遊ぶ。 ○ 身近な自然に触れたり、様々なできごとを体験したり、感じたことや考えたこと、イメージしたことを言葉や動き、絵画、音楽などで表現することを楽しむ。 ○ 自分の発見や感動を保育者や友達に伝える喜びや楽しさを味わう。 ○ 様々な素材を使って遊ぶことを楽しむ。 ○ 見たものや感じたものになりきって遊んだり、友達とストーリーに沿って動くことを楽しんだりする。

領域	4歳児
健康	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育者や友達と一緒にイメージを広げたり戸外で体を動かしたりして遊ぶことを楽しむ。 ○ 遊びや生活に必要な準備や片付けなどのやり方が分かり進んで行く。 ○ 自分の健康に関心をもち、うがい、手洗いや衣服の調節などを進んで行く。 ○ 食べ慣れないものや嫌いなものでも少しずつ食べようとする。 ○ 園生活の決まりや災害時の集団行動の仕方が分かり、約束を守って行動する。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育者や友達がしていることに興味や関心をもち、自分の遊びに取り入れたり、一緒に遊んだりして楽しむ。 ○ 周囲の友達に親しみを感じ、自分の思いを伝えながら、相手の気持ちを感じとる。 ○ クラスのみんなで活動する楽しさが分かり、友達とのつながりを感じながら自分の力を発揮する。 ○ みんなと一緒に遊ぶ中で遊びのルールや流れが分かり、意識したり、守ったりして遊ぶ。 ○ 共同の遊具を大切に扱い、譲り合って使おうとする。 ○ 年下の子どもに親しみをもったり、年上の子どもの様子に関心をもち、積極的に関わっていきこうしたりする。 ○ 地域の方や高齢者との触れ合いを通して、様々な人に関心をもつようになる。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な自然に興味をもち、自分なりに考えたり試したりして遊びを楽しむ。 ○ 身近な道具の使い方がほぼ分かり、様々な場面で積極的に使おうとする。 ○ 重い、軽い、固い、柔らかい、伸びる、縮むなどのものの性質に気付き遊びに取り入れる。 ○ 身近な動植物に親しみ、見たり触ったり保育者と一緒に世話をしたりする。 ○ 遊びに必要なものを自分なりに考えて作ったり、数や量に関心をもち、数えたり並べたり遊びに取り入れたりする。 ○ ものを大切に扱い、保育者と一緒に分類したり整理したりする。 ○ 生活や行事を通して、日本の国旗が分かり親しみをもつ。
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育者の話を親しみをもって聞いたり、友達の話に耳を傾けたりする。 ○ 保育者の話や簡単な指示が分かる。 ○ 自分の言うことを聞いてくれる人がいることを知り、安心して伝えようとする。 ○ 「いれて」「かして」など遊びや生活に必要な言葉を使う。 ○ 保育者や友達に親しみをもって挨拶をしたり、保育者や友達と言葉のやり取りを楽しんだりする。 ○ 体験したことや絵本、歌などの中でおもしろい言葉に気付き、繰り返し声に出して楽しむ。 ○ 絵本や紙芝居などの内容や筋が分かり、ストーリーの展開を楽しみ、イメージを広げる。
表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々なものの音、色、形、手触り、動きなどに気付き、驚いたり感動したりする。 ○ 作ったものを使って遊んだり、保育者や友達と一緒に身の回りを美しく飾ることを楽しんだりする。 ○ 感じたことや思ったこと、想像したことなどを、様々な素材や用具、方法などで自由に表現することを楽しみ、描いたり作ったりしたもので遊ぶ。 ○ リズムに合わせて動いたり、クラスの友達と気持ちを合わせて歌ったり、楽器を弾いたりすることを楽しむ。

※それぞれの年齢だけでなく、乳児から移行期における育ちのつながりの確認にもご活用ください。

領域	5歳児
健康	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戸外の様々な環境に積極的に関わり、体を動かしたり、工夫したりして遊ぶ。 ○ 一日の園生活を予測したり、見通したりして自分なりに行動する。 ○ 自分の身の回りの始末や片付けの必要性が分かり、自分から進んで行う。 ○ うがいや手洗いなど病気の予防に必要な活動を理解し、自分からやってみようとする。 ○ 体と食物の関係に関心をもつ。 ○ 危険な遊び方や場所に気付き、自分で判断して止めようとする。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共通のイメージをもって、グループの友達と遊びを進める楽しさを感じる。 ○ チームの友達と力を合わせ、他のチームと勝敗を競う楽しさや悔しさを仲間と共感し合う。 ○ 友達の得意な面やよさに気付き、一緒に楽しく遊ぼうとする。 ○ 自分のしたこと善悪の気付き、どうしたらよいか考えようとする。 ○ 自分のことだけでなく、相手の立場に立って考えようとする。 ○ 異年齢の子どもとの関わりを深め、思いやりやいたわりの気持ちをもつ。 ○ 自分の生活に関係の深い地域の方や高齢者に親しみの気持ちをもつ。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ ものの性質や仕組みが分かり遊びに生かす。 ○ 季節の変化や自然現象に興味や関心をもち、考えたり試したりする。 ○ 飼育栽培物の世話に気付き、自分でできることをしようとする。 ○ リサイクル活動に興味や関心をもち、自分でできることをしようとする。 ○ 様々な図形に関心をもったり、数、量の多少やものの高低、長短が分かったりし、生活や遊びの中に取り入れる。 ○ 自分の名前を書く、友達の名前を読む、遊びの中で文字を書く、時計を見て片付けの時間が分かるなど、日常生活や遊びの中で必要な文字や数、標識を進んで使う。 ○ 地域の施設や人、社会の情報、日本の国旗や世界の国旗に関心をもつ。
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えたこと疑問に思ったことなどを、相手に分かるように言葉で表現する。 ○ グループの友達の中で、自分の考えをみんなに分かるように話す。 ○ 聞いて心地良い言葉や美しい言葉があることに気付き、自分も使おうとする。 ○ 様々な体験を通じてイメージを豊かにし、言葉で表現する。 ○ 絵本や物語、詩などに親しみ、想像する楽しさを味わったり自ら表現したりして言葉の面白さや美しさに興味をもつ。
表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 試したり工夫したりして様々なものの感触、特徴を感じ取り楽しむ。 ○ 感じたことや思ったことなどを友達と伝え合う楽しさを味わう。 ○ グループの友達と共通の目的をもって、描いたり作ったりする。 ○ 感じたことを色、形、声、体の動きなどに託し、様々な方法で伸び伸びと表現することを楽しむ。 ○ 音楽を聴いたり、歌を歌ったり、曲に合わせて楽器を使ったりする楽しさを味わう。 ○ 自分の想像したものを体の動きや言葉などで表現したり演じたりして楽しむ。

領域	5歳児移行期
健康	<ul style="list-style-type: none"> ○ 周りの環境や状況を活かし、思い切り体を動かしたり、決まりや遊び方を工夫したりしながら楽しく遊ぶ。 ○ 遊びや生活の中で動と静、緊張と開放を感じ、調整しながら遊ぼうとする。 ○ 見通しをもって自分たちの生活をつくっていかうとする。 ○ 当番活動や生活に必要な準備、仕事、片付けなどを友達と協力して行う。 ○ 自分の体の状態に関心をもつ。 ○ 災害時の行動の仕方が分かり、指示をよく聞き、落ち着いて行動する。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分がしなくてはいけないことが分かり気持ちや行動を自分で調整しようとする。 ○ グループの友達と考えを出し合ったりやり通したことを喜び合ったり充実感を感じたりする。また、遊びの中で生じるトラブルを公平な立場で解決しようとする。 ○ してよいことやしてはいけないことが分かり、自分で判断して行動する。 ○ 進んで決まりを守ったり園の約束ごとを4歳児に引き継いだりする。 ○ 友達のよさや得意な面を受止め合う。 ○ クラス全体で活動する中で友達との連帯感を感じながら自分の力を発揮する。 ○ 高齢者をはじめ地域の人々など、自分の生活に関係の深い様々な人に親しみをもつ。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の美しさ、不思議さに気付き、伝え合ったり図鑑で調べたり遊びに取り入れたりする。 ○ 身近な動物の世話をしたり接したりする中で、動物の気持ちや特性が分かり優しくする。 ○ 伝統的な行事に関心をもち、季節や生活の変化に気付く。 ○ 遊びの中で人数を調整したり得点を付けたりして数量に関心をもち、遊びに取り入れる。 ○ 体験授業に参加し、学校生活に期待をもつ。 ○ 国旗に興味をもち自分の国の旗が分かる。 ○ 環境保護の意味を知り、ごみを分類したりものを意識して大切に使用したりして環境への意識をもつ。
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先生や友達の言葉や話に興味をもち、親しみをもって聞いたり話したりする。 ○ 見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりの言葉で表現する。 ○ したいこと、してほしいことを言葉で表現したり分からないことを尋ねたりする。 ○ 生活や遊びの中で必要な言葉の意味が分かり、場面に合わせて使う。 ○ 誰とでも自分から挨拶を交わしたりお礼の気持ちを言葉で伝えたりする。 ○ 童話や詩などに興味をもち、言葉の面白さやリズム、美しさに気付き、使って楽しむ。 ○ 文字や数字を使って伝える楽しさを味わう。
表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な音、色、手触り、動きなどに気付いたり感じたりなどして楽しむ。 ○ 生活の中で美しいものや心動かすできごとに触れ、イメージを豊かにする。 ○ 様々な体験や感動を様々な方法で伸び伸びと表現し、伝えようとしたり感動を共有したりする。 ○ 音の美しさや面白さ、リズムや強弱などを感じ、歌ったり楽器を弾いたりして楽しむ。 ○ 身近にある美しいものを見て感動したり、身の回りを美しくしようとする気持ちをもち、生活に取り入れようとしたりする。 ○ クラス全体で共通の目的に向かって作ったり、言葉や動きで表現したり演じたりしてやり遂げる充実感を味わう。



※それぞれの年齢だけでなく、乳児から移行期における育ちのつながりの確認にもご活用ください。

資質能力	小学校入学期(小学校1年 4月～6月)
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給食を友達や担任と一緒に、マナーを身に付けて楽しんで食べるようになる。 ○ 休み時間を意識して排泄をし、身支度を整えるようになる。 ○ 運動に積極的に取り組むようになる。 ○ 体を動かす楽しさや心地よさを味わいながら、決まりを守って仲良く遊ぶようになる。 ○ 生活や学習において、失敗しても意欲をもってやり遂げ、自分に自信をもって行動するようになる。 ○ 自分でできることは自分でやろうと、積極的に取り組むようになる。 ○ してよいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動するようになる。 ○ 危険な場所や遊び方に気付き、判断して行動するようになる。 ○ 入学直後の学校の春を十分に味わう。 ○ 季節の変化や自然現象に興味や関心をもち、考えたり、試したりするようになる。 ○ 文字や数字に興味をもち、音読や読書をしたり、身近にある数字を読んだり数えたりするようになる。 ○ 正しい鉛筆の持ち方で、興味をもって文字や数字などを書くようになる。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達に関心をもち、自ら関わりを広げようとするようになる。 ○ グループ学習を通して、相手の考えを聞き、様々な考えを知ったり、自分以外の考えを尊重したりするようになる。 ○ 担任との信頼関係を深め、安心して学校生活を送ることができるようになる。 ○ 自分の状況を言葉で表現し、困っていることや分からないことを伝えたり聞いたりするようになる。 ○ 自分のことや友達のことを言葉で表現するようになる。 ○ 生活や学習の中で、友達と互いの思いや考えを伝え合い、共感的に受け止めたり、認め合ったりするようになる。 ○ 自分の気持ちや願いを安心して表現し、意欲的に学校生活を進めようとするようになる。 ○ 自分なりの表現や楽しさを、担任や友達と受け止め合いながら、一緒に表現する楽しさを味わうようになる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 早寝早起き、朝ごはんをとる習慣を身に付け、安全に注意しながら、寄り道せずに登下校するようになる。 ○ 生活時程に慣れ、見通しをもって、チャイムの合図で次の活動に移行するための準備を整えるようになる。 ○ 自分の持ち物を認識し、大事に使ったり、整理したりするようになる。 ○ 靴の脱ぎ履き、洋服の脱ぎ着などは、一定時間内で手際よく行うようになる。 ○ 自分の机や椅子の位置や使い方が分かり、姿勢よく座り、前を向いて教員の話を書くようになる。 ○ 教員の話をも自分のこととして受け止め、理解して行動するようになる。 ○ 各教科の学習活動や教科書に興味をもち、学ぶ意欲をもつようになる。 ○ 教科書や黒板を見て学習内容に興味をもち、理解するようになる。